

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	令和元年8月20日(火) 午後1時30分から午後3時00分まで
3 会場	中央公民館 2階 会議室
4 出席者	伊藤委員、岡部委員、金井委員、宮本委員、中澤(純)委員、成澤委員、羽原委員、樋村委員、古川委員、松田委員、丸山委員、中澤(健)委員、山浦委員
5 市側出席者	【事務局】内藤地域内分権推進担当係長、大滝中央地域担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年8月26日
協 議 事 項 等	
1 開 会	
2 会長あいさつ	
3 協議	
(1) 中央地域の地域課題について	
テーマごとに意見交換	
○第1分科会:「交通問題について」	
◎交通政策課 竹内課長、山田課長補佐より公共交通について資料に基づき説明	
・人口減少、少子高齢化の進行、モータリゼーションの進展により、公共交通利用者数が減少し、不採算路線が廃止となっている。	
・慢性的な経常赤字、運転手の人出不足により、路線バスの維持が困難である。	
・利用者の減少、事業者の経営状況の悪化という中、市の財政圧縮の視点を持ちつつ、「市民の利便性向上」と「運行の効率化」との両立を図らなければならない。	
・「乗って残す」の合言葉を実現するには、地域住民、運行事業者、行政が一体となった、共同経営者としての議論の場づくりが必要である。	
◎以下、委員からの主な意見	
・バスの乗り方や、高齢者に席を譲るなどの公共マナーを子供たちが学べるよう、自治会や、PTAなどで子供たちがバスに乗るためのイベントを開催するといい。	
・各自治会の話し合いにタクシー会社に入ってもらい、話し合いの場をつくるといい。	
・利用促進のためには、スタンプラリーなどのイベントを開催するなど、バスに乗るための「きっかけ」を提供する必要がある。	
・バスを利用したいと思うが、利用したい時間とバスの時間が合わない。	
○第2分科会:「空家・放棄地問題について」	
・出席者が少なかったため、分科会全体の意見のまとめは次回に行うこととし、今までの話し合い内容の整理、今後のスケジュールの確認及び意見交換を実施した。	
◎以下、委員からの主な意見	
・市の空家等対策協議会では、「空家の適正管理」「特定空家の運用」の扱いが中心になっている。	

- ・空家対策は、行政だけで行うものではなく、地域の人たちも当事者であり、主体的に参加すべきである。
- ・中央地域に、行政、業界団体、NPO法人等で構成する委員会等が必要ではないか。
- ・空家・放棄地等に関する相談をどこに相談したらいいかわからないので、総合相談窓口が必要ではないか。

○第3分科会：「ゴミ問題について」

- ・前々回のごみ減量企画室 鈴木課長補佐からの説明について意見まとめ
- ・提言に向けて提言内容の確認、原案の読み合わせ
各自、原案を読み込み、提案内容を考察する

◎以下、委員からの主な意見

- ・強制力がないのでゴミ問題は難しい。罰則をつけたらどうか。
- ・細かすぎる分別は、高齢化社会において現実的ではないのではないか。
- ・広報活動において、自治会ありきでは難しい。
- ・検索可能なアプリの周知を。若い世代が利用し、長期的にみると有効な手段になる。

(2) その他

特になし

4 その他

(1) 当面の日程

ア	： 9月25日（水）	13:30 から	（会場	： 中央公民館	2階	会議室）
イ	： 10月11日（金）	13:30 から	（会場	： 中央公民館	2階	会議室）
ウ	： 11月13日（水）	13:30 から	（会場	： 未定		）

5 閉 会